

## 各委員会での主な審議結果

### 総務企画委員会

#### 【防災行政無線】

- Q. 反響等により聞き取りにくい箇所の対応は？
- A. 反響等で聞き取りにくい箇所へは音量や向きで対応。さらに放送した内容はテレホンサービスでも確認可能。まずは住民みずから情報を入力するよう防災意識の醸成を図る。
- 【道の駅ふたつい整備】
- Q. CLT（直交集成板）の導入等木材の活用は？
- A. 木材の活用には、経費や工法を勘案し検討したい。
- Q. 招聘するアドバイザーについては？
- A. アドバイザーからは農産物直売所の運営実態の分析と運用方法の改善策等についてアドバイスをいただきたいと思います。

### 文教民生委員会

#### 【児童扶養手当】

- Q. 現在の児童扶養手当の受給状況は？
- A. 26年7月現在の受給状況は、母子家庭が566世帯、父子家庭が84世帯、養育者として2世帯の652世帯となっている。
- 【予防接種】
- Q. 幼児の水痘及び高齢者の肺炎球菌感染症の予防接種の周知方法は？
- A. 対象者全員に個別の案内を送付する予定としているほか、広報や新聞広告等においても周知していきたい。
- 【能代球場整備】
- Q. 大規模改修後の電光掲示板はどのようなものをイメージしているか？
- A. 文字だけではなく動画等の映像も可能なLED電光掲示板の設置を目指したい。

### 産業建設委員

#### 【県北地区広域汚泥処理施設】

- Q. 現在の汚泥処理状況と処理施設を建設する経緯は？
- A. 現在は大仙市の施設で処理しているが32年度ごろに受け入れが困難となるため、市で建設する場合の財政負担を考慮し、県及び県北の各市町と共同で建設することとした。
- Q. 建設費は？
- A. 約44億5000万円と試算されており、3分の2は国からの補助金で残りの3分の1を県と各市町で負担する。
- 【水道事業会計決算の認定】
- Q. 純利益がふえた要因と今後の経営見通しは？
- A. 24年度の料金改定と委託料の減少等により純利益がふえているが、人口減少等が見込まれるため、事業の平準化など、経費節減に努める。

### 庁舎整備特別委員会

- Q. 基本設計の構造計画では、構造の一部を木造とすることも検討するとしていたが、鉄筋コンクリート造となった背景は？
- A. 庁舎は、建築基準法上、耐火構造が求められており、構造の一部を木造にしようとする場合、耐火性能試験をクリアして国土交通大臣の認定を受ける必要がある。大臣認定は順調にいつても12月末ごろとなるため、建設工事費の予算を提案する12月定例会までに間に合わないこと、また、設計者が当初見込んだ1立方メートル当たりの単価が、実設計の段階で精査したところ、大幅に膨らむ見込みであることが明らかになったため、構造材としての木材の使用は見送ることにした。